

# CASBEE神戸ver.3

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社コスメック第3工場新築工事	階数	地上3階
建設地	神戸市西区井吹台東町7丁目2-10	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月20日 予定	評価の実施日	2024年6月10日
敷地面積	5,564 m <sup>2</sup>	作成者	片岡政規
建築面積	2,533 m <sup>2</sup>	確認日	2024年6月10日
延床面積	4,193 m <sup>2</sup>	確認者	片岡政規



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 3.3** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 4.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.9

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 4.4

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.1**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 4.6

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.9

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
<p>Q-2/1.1.3 バリアフリー計画</p> <p>3.0</p>	<p>Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振</p> <p>3.0</p> <p>Q-2/2.4 信頼性</p> <p>3.0</p>	<p>Q-3/2. まちなみ・景観への配慮</p> <p>5.0</p>
<p><b>配慮の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地出入口にインターフォンを設置し、呼び出しが可能な計画。</li> <li>敷地出入口から建物出入口に点字ブロックを敷設し視覚障害の方にも誘導が可能。</li> <li>昇降機はバリアフリー対応を採用している。</li> <li>廊下、扉は余裕を持った幅員としている。</li> </ul>	<p><b>配慮の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>部材の耐用年数は比較的長いサンドイッチパネル等の採用をしている。</li> <li>ガラスや外壁は再現期間50年以上とする。</li> <li>建物に適した空調・機械計画としている。</li> </ul>	<p><b>配慮の概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路に面する三辺に周囲と調和した緑化計画を行っている。</li> <li>建物をセットバックして圧迫感を抑制する計画としている。</li> <li>周囲建物と調和するように高さを抑制し計画している。</li> </ul>
<p><b>その他の配慮事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基礎梁・底版は高炉セメント等リサイクル材の使用を行っている。</li> <li>主要構造躯体の鉄骨の基準強度FをF325以上355未満とし、材料使用量の削減を図っている。</li> </ul>		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)  
株式会社コスメック第3工場新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築  
■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD\_

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										4.0
Q1 室内環境							0.30	-	-	3.5
1 音環境						3.6	0.15	-	-	3.6
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						4.6	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		複層ガラス5+A6+6を使用(T-2)				5.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		TLD50の遮音壁を採用している				4.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御						3.8	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		外壁サンドイッチパネルの熱貫流率は0.58(W/m <sup>2</sup> K)<1(W/m <sup>2</sup> K)				5.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性		ゾーン毎に最適な空調制御が行える計画				4.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.5	0.25	-	-	3.5
3.1 昼光利用						3.8	0.30	-	-	
1 昼光率						3.0	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備		廊下2・工場エリアにハイサイドライトの設置をしている。				5.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御		ブラインド及び庇の設置を行っている。				4.0	1.00	-	-	
3.3 照度						3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						4.4	0.25	-	-	4.4
4.1 発生源対策						5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		内装材は全てF☆☆☆☆を採用				5.0	1.00	-	-	
4.2 換気						3.6	0.30	-	-	
1 換気量		法定必要換気量の1.2倍以上としている				4.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能		居室の自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。				4.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		喫煙室を設け、明確に禁煙者と空間を分離している。				5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.9
1 機能性						4.2	0.40	-	-	4.2
1.1 機能性・使いやすさ						3.6	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1人当たり12㎡以上の執務面積を有する計画				5.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高さ2.7mで計画				4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		バルコニーの設置				4.0	0.33	-	-	
3 内装計画		工場で使用される鉄のイメージや企業カラーを踏襲した内装計画。				5.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						5.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚コーティングビニルタイルの採用。				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃用流し等維持管理が容易な計画としている。				5.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		サンドイッチパネルの採用により耐用年数20年~30年とする。				4.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		工場の内装もサンドイッチパネルを採用し、耐用年数20年~30年と				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクト材料は溶融アルミニウム-亜鉛鉄板としている。				5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種のうち2種類以上にC以上を使用。				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	3層の階高平均4.4m	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1≦壁比率≦0.3で計画	4.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		工場エリアとなる床荷重は4500N/m <sup>2</sup> 以上で計画	<b>5.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		周辺緑地と連続した環境を計画している。	<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		建物ボリュームを分節し、周囲に圧迫感を与えない計画。	<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>4.0</b>	0.30	-	-	<b>4.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雨宿りが可能な庇を有している。	<b>5.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>4.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-	-
<b>2 自然エネルギー利用</b>		ハイサイドライトの利用。計算により自然エネルギー利用を算出。	<b>5.0</b>	0.13	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.71	<b>3.9</b>	0.63	-	-	<b>3.9</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>4.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.8</b>	0.20	-	-	<b>3.8</b>
<b>1.1 節水</b>		節水型便器、自動水栓を使用している。	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.7</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水を植栽に利用	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>5.0</b>	0.60	-	-	<b>5.0</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>		鉄筋本数の削減や大梁鉄骨量の削減により使用量の削減を図つ	5.0	0.14	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			-	-	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		基礎・基礎梁・底版(高炉セメント)	5.0	0.29	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		磁器質タイルB:LIXILアレス、ビニル床タイル:エグザストーン、ルー	5.0	0.29	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			-	-	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		鉄骨造であり躯体と仕上げ材が明確化されている。	5.0	0.29	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>4.3</b>	0.20	-	-	<b>4.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		ビニル床タイル・シートの接着剤等は有害物質を含まない材料とす	<b>5.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>4.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	外壁材での断熱材はポリイソシアヌアフォームを採用している	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.9</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		適切な地球温暖化への配慮を行っている。	<b>3.6</b>	0.33	-	-	<b>3.6</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>4.2</b>	0.33	-	-	<b>4.2</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>		大気汚染物質の発生はなし。	<b>5.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>		風シミュレーションなどで周辺状況に配慮している。	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>4.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車場・駐輪場を適切な量配置している。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	十分なゴミ置き場や有価物置場の設置を行い、搬出しやすい配置と	5.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>4.0</b>	0.33	-	-	<b>4.0</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>4.7</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制	村上式風ランク評価により周囲に影響を与えず、ランクより上のラン	5.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制	準工業地域であるが、西側の第一種低層地域の基準で満たしてい	4.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>5.0</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	公告物に照明を使用していない。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	反射を抑制する灰色の塗装とする。建物高さを低減し、反射を抑制	5.0	0.30	-	-	